



立塚遺跡で出土した管玉(右から3番目と、他の遺跡で見つかった管玉(左端))  
|| 県立埋蔵文化財センター提供

# 特大管玉が出土 鹿屋・立塚遺跡

## 最大長さ6センチ、国内標準の4倍

鹿屋市吾平町麓の立塚遺跡で古代の装飾品、管玉が見つかった。発掘した鹿児島県立埋蔵文化センターによると、最大の物は長さ6センチ、直径1・5センチ。長さでは国内で見つかった標準的な管玉の4倍ほどある。センターは「異例の大きさ。今後、産地などを詳しく調査する」としている。

管玉は円筒状で、ピースのように糸で連ねて使う。同遺跡では縄文・弥生の土器と同じ層から、長さ6センチ、1・5センチの3点が別々に見つかった。いずれも碧玉とみられる緑色の石製で、最大の物は熱を受けて白く変色している。直線的な形から、制作は弥生時代以降と推定される。

センターによると、国内では長さ0・5～1・5センチ程度が標準。県内でも出土例はあった。



縄文時代から平安時代にかけての遺物が出土した立塚遺跡  
|| 鹿屋市吾平町麓

【問1】 鹿屋の立塚遺跡で、古代の装飾品、管玉が見つかりました。最大の物は長さが6センチで、直径は何センチだったでしょうか。

【問2】 県内では、管玉を作っていたとみられる遺跡は確認されていません、調査課長は、管玉が、どこで作られ、運ばれてきたと考えていますか。

【問3】 立塚遺跡では、他にどのような物が確認されていますか。

【調べてみよう】 県内の遺跡について調べてみましょう。

### むずかしい漢字とことば

遺跡(い・せき) = 歴史的なできごとや建物のあった場所  
装飾(そう・しょく) 発掘(はっくつ) 埋蔵(まい・ぞう) 標準(ひょうじゅん)  
異例(い・れい) 調査(ちょうさ) 円筒(えんとう) = 丸いつつ  
弥生(やよい) 層(そう) 制作(せいさく) 以降(いこう) 推定(すい・てい) = まだわかっていないことを、こうだろうと推し量って決めること  
程度(ていど) 確認(かくにん) 技術(ぎじゆつ) 晩期(ばんき)  
遺構(いこう) 改修(かいしゅう) 伴(ともない) 畝(うね) = 畑で、作物を植えつけるために、土を細長く盛り上げた所



立塚遺跡で出土した管玉(右から3番目と、他の遺跡で見つかった管玉(左端))  
|| 県立埋蔵文化財センター提供



# 特大管玉が出土

鹿屋・立塚遺跡

## 最大長さ6センチ、国内標準の4倍

鹿屋市吾平町麓の立塚遺跡で古代の装飾品、管玉が見つかった。発掘した鹿児島県立埋蔵文化センターによると、最大の物は長さ6センチ、直径1・5センチ。長さでは国内で見つかった標準的な管玉の4倍ほどある。センターは「異例の大きさ。今後、産地などを詳しく調査する」としている。

管玉は円筒状で、ピースのように糸で連ねて使う。同遺跡では縄文・弥生の土器と同じ層から、長さ6センチ、1・5センチの3点が別々に見つかった。いずれも碧玉とみられる緑色の石製で、最大の物は熱を受けて白く変色している。直線的な形から、制作は弥生時代以降と推定される。



縄文時代から平安時代にかけての遺物が出土した立塚遺跡  
|| 鹿屋市吾平町麓

センターによると、国内では長さ0・5～1・5センチ程度が標準。県内でも出土例はあった。  
(野村真子)

【問1】 鹿屋の立塚遺跡で、古代の装飾品、管玉が見つかりました。最大の物は長さが6センチで、直径は何センチだったでしょうか。

直径( 1.5 )センチ

【問2】 県内では、管玉を作っていたとみられる遺跡は確認されていません。調査課長は、管玉が、どこで作られ、運ばれてきたと考えていますか。

朝鮮半島や山陰、北陸

【問3】 立塚遺跡では、他にどのような物が確認されていますか。

奈良～平安時代の建物の柱跡、畑の畝跡

【調べてみよう】 県内の遺跡について調べてみましょう。

### むずかしい漢字とことば

遺跡(い・せき) = 歴史的なできごとや建物のあった場所  
装飾(そう・しょく) 発掘(はっくつ) 埋蔵(まい・ぞう) 標準(ひょうじゅん)  
異例(い・れい) 調査(ちょうさ) 円筒(えんとう) = 丸いつつ  
弥生(やよい) 層(そう) 制作(せいさく) 以降(いこう) 推定(すい・てい) = まだわかっていないことを、こうだろうと推し量って決めること  
程度(ていど) 確認(かくにん) 技術(ぎじゆつ) 晩期(ばんき)  
遺構(いこう) 改修(かいしゅう) 伴(ともない) 畝(うね) = 畑で、作物を植えつけるために、土を細長く盛り上げた所

